

音楽クロスロード収載

酒造り唄

酒造り唄というジャンルの唄があります。所謂仕事歌の一つで共同作業の歩調をとったり、寒さや眠気などに耐えられるよう作業の辛さを緩和する意味もあると思われます。それぞれの作業工程ごとに歌われる唄が複数あって、杜氏ごと、地方ごとにバリエーションがあるとされています。手元にある、阪田美枝編集の CD「日本の酒造り唄」(CDT-1038-1041)には次のようなものが収録されています。

南部流 山内流 山形流 信濃流 越後流 能登流 越前流 丹後流 丹波流
但馬流 城崎流 伊方流 備中流 広島流 野毛流 出雲流 九州

地酒を呑みながら、どのような酒造り唄を唄いながら作られたかを想像するのも一興でしょう。しかしながら、大手の酒造メーカーでは多くの作業が自動化され、コンピュータ管理されたプロセスで醸造されるようになっており、そのような蔵では酒造り唄はどのようなになっているのでしょうか。



ネット上でみられる解説を以下に示します。

越後酒造り唄

<http://wakabajirushi.fc2web.com/uta.html>

頸城区の酒づくり唄

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/soshiki/kubiki-ku/kubiki-saka2.html>

灘の酒造り唄について

<http://sakeuta.com/uta.html>

また、YouTube で見られるサイトを紹介しておきます。

千謡会 / 灘の酒造り唄

<http://www.youtube.com/watch?v=R8ytO0OJrgk>

筑後酒造り唄、第 18 回城島酒蔵開き、久留米市、福岡

http://www.youtube.com/watch?v=9XLj_Kp9Z0o

酒蔵 酒造り唄～仕込み唄～

<http://www.youtube.com/watch?v=jg2BO1XCyGo>

こういった酒造り唄は各種イベントでも披露され、毎年３月に開催される新潟酒の陣でも唄われていました。

<http://sakenojin.jp/>

